

認定事業再編計画の実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

2020年6月25日

2. 認定事業再編事業者の名称

株式会社 JOLED

3. 認定事業再編計画の実施期間

2020年6月～2023年3月

4. 事業再編に係る事業の達成状況等

（1）事業再編に係る事業の達成状況

認定計画に基づき、以下のとおり事業再編を行った。

（事業の構造の変更）

本計画では、①製品ビジネス：有機ELパネルの新製品開発、及び、中型サイズ有機ELパネルの製品ラインナップ拡充と多用途展開を目指した生産体制の変更、並びに、②技術ビジネス：これらにより得られた有機EL性能、生産性向上に関する技術の技術供与事業による事業収益構造の変更を目指し、華星光電日本株式会社と資本業務提携を締結し、2020年7月3日に華星光電日本株式会社を引受先とする第三者割当増資を実施した。

- ・ 増資額：20,000,000,000円（うち10,000,000,000を資本金へ組み入れ）

（前向きな取組）

①製品ビジネス：G5.5量産ラインでの有機ELパネルの量産を開始し、それに伴い、G4.5試作・少量生産ラインの閉鎖を完了した。G5.5量産ラインの製品ラインナップは32型、27型、22型、14型となった。また、用途展開は、医療用モニタ、制作用モニタ、車載向け用途等、これまで有機ELパネルの採用が遅れていた製品分野への拡大を実現した（2023年3月期実績：全売上高比率77%）。しかし、新規顧客商談の成立が進んだものの、品位課題、顧客セット開発の遅延に加え、世界的な半導体部品の供給不足の影響を受けたことにより、期初の販売計画に対しては大幅な未達となった

②技術ビジネス：2021年度までに技術供与対価を収益として得、2022年度は、クロスライセンス権を付与し、複数年で利益計上が実現できた（2022年度は、これに、他パネルメーカーへのライセンスフィーを含め、全売上高比率23%に相当）。また、華星光電との共同開発を通し、大型有機ELパネル製造のための基本技術開発は、2021年12月に開発目標を達成したことで、技術ビジネスの一つの収益モデルを実現した。

(2) 生産性の向上を示す数値目標の達成状況

生産性向上について、修正 ROA を指標に選択している。

修正 ROA は、2020 年 3 月期（基準年度）-8.97%を、2023 年 3 月期に 38.69%に、47.66 ポイント改善させることを目標としていたところ、実績では 40.80 ポイント悪化となった。

有形固定資産回転率は、2020 年 3 月期 0.02 回転であったところ、2023 年 3 月期の目標 1.51 回転（5,990%向上）に対し、実績は 0.55 回転（2,111%向上）であったが、計画期間における法定目標 5%を達成することができた。

また、財務内容の健全性の指標については、2022 年度は有利子負債／CFが▲1.3 倍、経常収支比率が 45.3%となった。

5. 事業再編に伴う労務に関する事項

(1) 事業再編の開始時期の従業員数

株式会社JOLED 541名

(2) 事業再編の終了時期の従業員数

株式会社JOLED 計画 633名 実績 391名

(3) 事業再編に充てた従業員数（2023年3月末実績）

株式会社JOLED 計画 633名 実績 391名

(4) (3)中、新規採用された従業員数（2023年3月末までの実績）

株式会社JOLED 計画 106名 実績 43名

(5) 事業再編に伴い出向又は解雇された従業員数（2023年3月までの実績）

株式会社JOLED

出向	計画	0名	実績	0名
転籍	計画	0名	実績	0名
解雇	計画	0名	実績	0名